

取扱説明書

モナロウ ラッシングベルト (JIS認証品)

トラックレール用 注文コード: 62442678, 09118317, 09118326,
09118335, 09118351, 09118360,
09118369, 09118378

Jフック 注文コード: 09118387, 09118396, 09118405

このたびは、ラッシングベルト(JIS認証品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、
「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、
「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

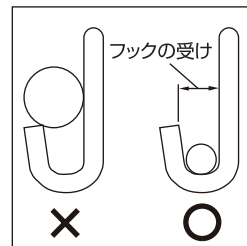
ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。

警告

■ ご使用の際は、次に記載する項目をお守りください。

- 本来の用途以外には使用しないでください。
- ワンピース(端金具)は、トラックレールの正しい位置に取付けてください。(トラックレール用)
- フックの受けよりも大きい所に引っ掛けしないでください。(右図)フックの外れや金具が変形・破損するおそれがあります。(Jフック用)
- 角のある荷物の場合は、ベルトの損傷を防ぐために角に当てもの(プロテクターなど)を装着してからご使用ください。
- 壊れやすい荷物の場合は、荷物が壊れないよう保護したうえで固定してください。
- ラチェットバックルは、ベルトを巻軸に1回半以上巻き取ったうえで使用してください。
- ラチェットバックルは、ベルトを巻軸に巻き過ぎないように、余分な長さはハンドル操作前に調節したうえで使用してください。
- 可動部で手を挟まないように注意してください。
- 荷物の輸送開始前に本製品が正しく取付けられているか確認してください。
- 荷物の輸送中の振動などで荷物が移動してベルトに緩みが発生することがあるため、輸送中は定期的にラッシングベルトの状態を確認するとともに、必要に応じて増し締めをしてください。
- 本製品を取外すときは、荷物が安定し、移動や落下することがないかを確認してください。
- 積み上げた荷物を降ろすときは、必ず本製品を外してから荷物を持ち上げて降ろしてください。
- 本製品は、玉掛け作業には使用しないでください。
- ベルトを結んだり、ベルト同士を引っ掛けたりしないでください。
- 使用温度は100℃以下とし、-30℃～50℃の温度範囲を超えて使用になる場合は、最大使用力についてモナロウお問い合わせ窓口へお問い合わせください。
また、高温の環境での使用はベルトが伸びやすくなるため、通常よりも頻繁に本製品の状態を確認いただき、必要に応じて増し締めを行ってください。
- 本製品を引きずったり、投げたりしないでください。
- ラチェットバックルの作動を円滑にするために、適時注油をしてください。注油後に余分な油はふき取ってください。
- 紫外線などでベルトが劣化するおそれがあるため屋外で常時使用しないでください。
ラチェットバックルを用いてベルトを締める時は、足や補助棒等は使わずに腕力(約50kgf以下)で使用してください。
- ラッシングベルトを取付けた状態でウィングの開閉操作はしないでください。取付けた状態で開閉操作を行うとウィング及びウィング機構が損傷するおそれがあります。(トラックレール用)
- 小さなお子様の手が届かない場所に収納し、必ず大人の方が常に管理できる状況でご使用ください。



注意

■ 使用前

- 本製品の長さや最大使用力が、対象の固定に合っているかを確認してください。

■ 本製品の選択には次の項目を確認してください。

- 荷物の寸法、形状および重量
- 荷物の性質(液体、薬品、危険物、破損しやすさ)
- 荷物の輸送環境
- 使用方法
- 取付けおよび取外しの作業の容易さ
- 輸送工程中に一部を荷下ろしする場合
- 荷物の固定に必要なラッシングベルトの数量および荷物の固定方法

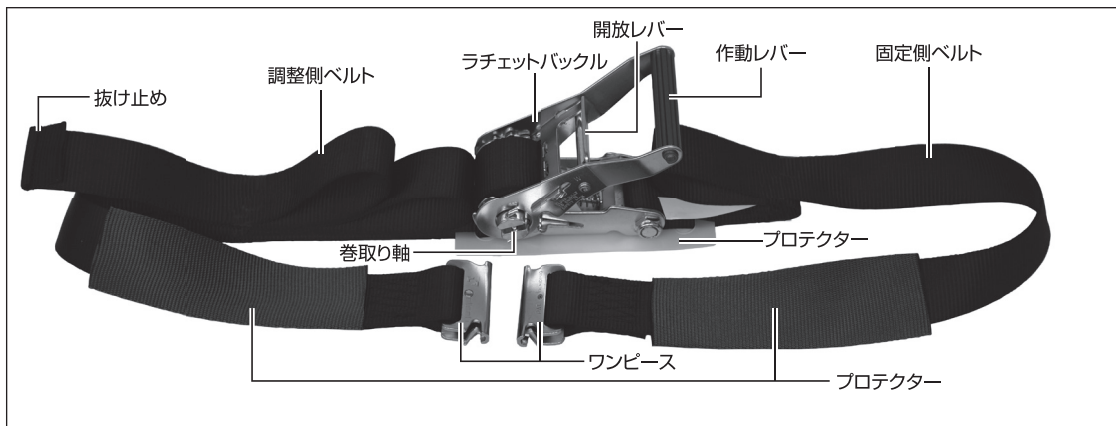
■ 使用後

【保管と点検】

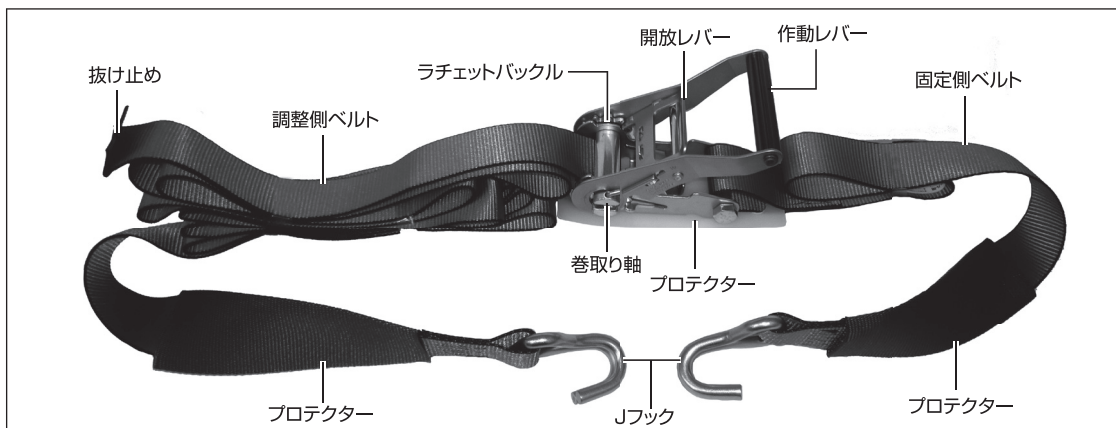
- 使用期間が容易に確認できるように、管理台帳や管理番号により使用期間、開始時期を明確にして管理してください。
- 本製品を使用しない場合は、太陽光や紫外線などを避けてください。
清潔で乾燥し、換気が行われて温度が一定の部屋で、熱源・薬品・溶剤が近くにない、非腐食性の棚などに保管してください。
- 本製品の保管前に、使用時に生じた損傷の有無を調べてください。
- 損傷が認められた製品は点検項目の廃棄基準に基づいて廃棄してください。
- 本製品が汚れた場合は、中性洗剤を使用して冷水で洗ってください。
- 使用期間については、使用開始後、屋内7年、屋外3年となります。

2 各部の名称

〔トラックレール〕



〔Jフック〕



3 端末金具の取付け

■トラックレール用

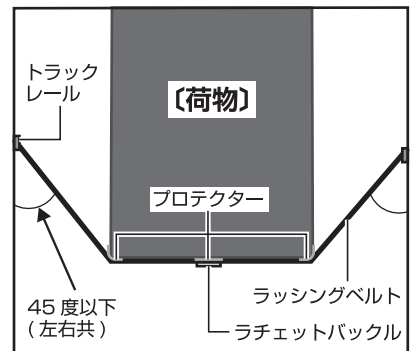
▼トラックレールへの取付け

●ラッシングベルトおよびワンピース(端末金具)のトラックレールへの取付け

- ラッシングベルトはトラックレールに対して必ず45度以下になるように取付けてください。
- ラッシングベルトに接触する荷物の角にはプロテクターなど当て物を装着してください。
- ラチェットバックルが荷物に接触するときは、荷物の損傷を防止するためプロテクターなど当て物を装着してください。

⚠ 注意

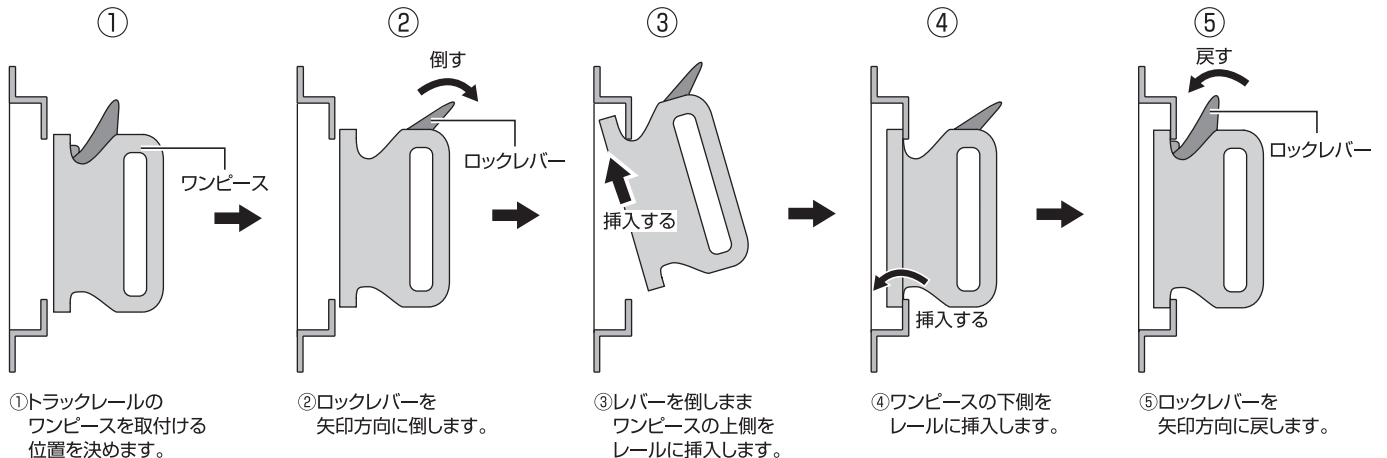
- トラックレールの継ぎ目には、ワンピース(端末金具)は取付けないでください。
- ラッシングベルトを取付けた状態でウィングの開閉操作はしないでください。



▼ワンピースの取付け

※ワンピースはトラックレール専用の端末金具です。

※取外しは取付けの逆手順で行ってください。



端末金具の取付け(続き)

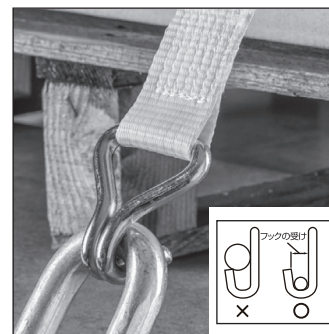
■ J フック

▼ 床フックへの取付け

トラックの荷室の床面に取り付けられている「床フック」、トラックのあおり下部や荷台に設置された「U フック」などにラッシングベルトの端末金具 (J フック) を引っかけます。

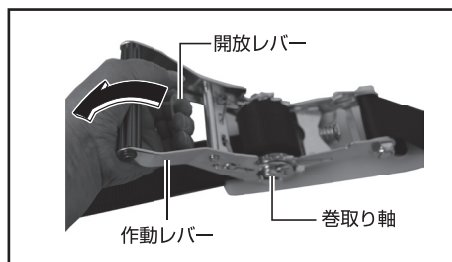
⚠ 警告

- 荷台の専用フック穴や補強された箇所に取付けてください。不適切な位置に取り付けると、荷崩れや事故の原因となる可能性があります。
- 荷物の重心を考慮し、バランスの取れた位置に取り付けてください。
- 複数のラッシングベルトを使用する場合は、均等に力が分散するように配置してください。
- フックの受けよりも大きい所に引っ掛けないでください。(右図)フックの外れや金具が変形・破損するおそれがあります。

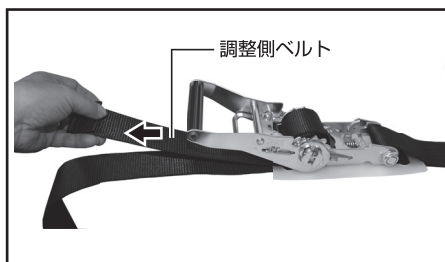


4 ラチェットの使用法

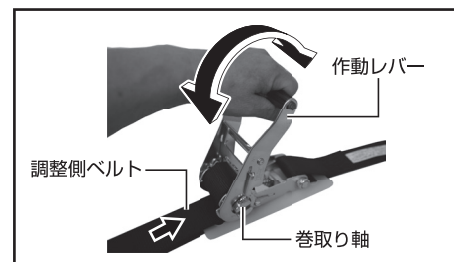
▼ 締付け方



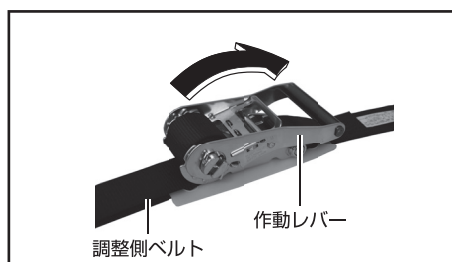
1. 開放レバーを握りながら作動レバーを矢印の方向に完全に倒し、巻取り軸を開放状態にします。



2. 調整側ベルトの上側を、矢印の方向へたるみがなくなるまで引出します。

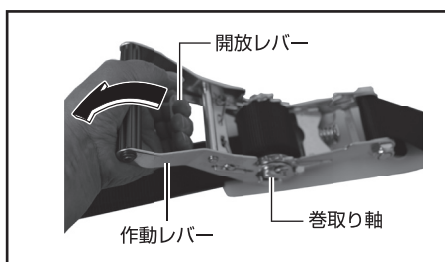


3. 作動レバーを矢印方向に繰り返し動かすと調整側ベルトが巻取り軸に巻き取られます。

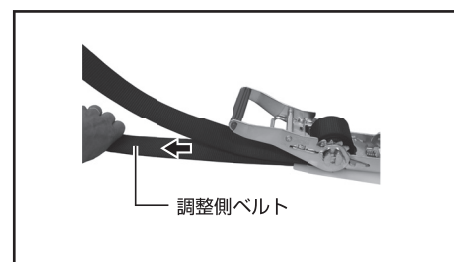


4. 荷物の固定が完了したら、作動レバーを矢印の方向に完全に倒し、調整側ベルトが固定されているか確認します。

▼ 緩め方



1. 開放レバーを握りながら作動レバーを矢印の方向に完全に倒し、巻取り軸を開放状態にします。



2. 調整側ベルトの下側を矢印の方向へ引出し、緩めます。

5 定期点検項目

■ ラッシングベルト JIS 認証品 点検基準

ラッシングベルトは、日常点検及び定期点検を行って使用してください。

- 日常点検 使用前に行う点検をいう。
- 定期点検 定期的に行う点検で、使用頻度によって異なるが、原則として1か月ごとに行う。

点検項目		点検の種類		点検方法	廃棄基準
		日常点検	定期点検		
ベルトの損傷の状態 (摩耗、きず及び縫糸の切断)	a) アイ ※アイタイプの場合	○	○	目視	1) 織目が分からないほどに毛羽立ちし、たて糸の損傷が認められるもの。 2) 目立った切りきず、擦りきず、引っ掛けきずなどが認められるもの。 3) 縫糸が切断して、アイの形状が保たれないもの。
	b) 縫製部	○	○	目視	1) 目立った切りきず、擦りきず、引っ掛けきずなどが認められるもの。 2) 縫糸が切断して、ベルトの剥離が少しでも認められるもの。
	c) 本体	○	○	目視	1) 全幅にわたって織目が分からないほどに毛羽立ちし、たて糸の損傷が認められるもの。 2) 目立った切りきず、擦りきず、引っ掛けきずなどが認められるもの。
その他の外観異常		○	○	目視	熱、薬品などによる著しい変色、着色、溶融、溶解などが認められるもの。
使用期間		—	○	管理台帳、表示などの確認	ラッシングベルトの使用状況によって、外観に損傷及び異常がなくても、次の使用期間を超えるもの。 — 屋内で使用する場合、使用開始後 7 年。 — 常時屋外で使用する場合、使用開始後 3 年。
バックル及び端末金具	a) 変形	○	○	目視	曲がり、ねじれ、ゆがみなどが認められるもの。
	b) きず	○	○	目視	著しい当たりきず、切欠ききずなどが認められるもの。
	c) 亀裂	○	○	目視	亀裂が認められるもの。
				磁粉探傷 又は浸透探傷	目視によって亀裂の疑いがあり、点検方法に定められた方法で、亀裂が認められるもの。
	d) 摩耗	—	○	計測	摩耗量が、元の寸法の10%を超えるもの。
	e) 腐食	○	○	目視	全体に腐食が認められるもの、又は局部的に著しい腐食のあるもの。
	f) バックルの機能	○	○	バックルの締め 操作及び緩め操作	正常に機能しないもの、著しく動きが悪いもの、又は異音がするもの。
	g) 端末金具の機能	○	○	可動部の動作確認	正常に動作しないもの、著しく動きが悪いもの、又は異音がするもの。



6 仕様

品名	注文コード	質量 (g)	ベルト長さ 巻取側 (m)	ベルト長さ 固定側 (m)	ベルト幅 (mm)	ベルト厚 (mm)	破断荷重	最大 使用力	端末仕様	ベルト色	製品規格	材質	
												ベルト	金属部
ラッシングベルト トラックレール用 JIS認証品	62442678	1700	3	1	50	2	13kN (1325kg)	3.25kN (331kg)	ワンピース	ブラック	JIS B 8850	ポリエステル	スチール
	09118317	1550	2	0.5									
	09118326	1650	3	0.5									
	09118335	1850	5	0.5									
	09118351	1600	2	1									
	09118360	1800	4	1									
	09118369	1900	5	1									
ラッシングベルト Jフック JIS認証品	09118378	2100	7	1									
	09118387	2000	5	1			30kN (3059kg)	7.5kN (764kg)	Jフック	ブルー	JIS B 8850	ポリエステル	スチール
	09118396	2100	6	1									
	09118405	2200	7	1									

※ 商品改良の為、仕様・外観等を予告なく変更することがあります。この変更によって生じる損害については、当社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。